

災害医療論

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 三浦 まゆみ 教授		
担当講座・学科(分野)	救急・災害・総合医学講座災害医学分野		
対象学年	4	区分・時間数	講義 12時間
期 間	前期		
単 位 数	1単位		

・学習方針（講義概要等）

災害の定義、種類とその特徴、災害急性期から慢性期における災害医療の課題・問題点、傷病者・被災者への支援制度・システムを学ぶ。その中で具体的に看護の役割を理解する。災害対応するための医療知識とともに、災害医療チームの一員として活動できる基本的な知識を修得し、災害時における多機関連携・調整の重要性を学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

災害医療の原則、概念、そして過去から現在の災害時の医療活動を学ぶことで、多職種・多機関と連携し、看護師として災害時（急性期から慢性期まで）に適切な活動ができるようになる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 4, 6, 7, 8

・到達目標（SBO）

1. 災害の種類や災害サイクル、支援体制、危機と危機管理について説明できる。
2. 災害時の医療救護活動のフェーズ（超急性期～静穏期）と各期の看護について理解できる。
3. 災害時の医療救護活動の基本である CSCATTT について理解できる。
4. 災害時における医療機関の役割を理解し、適切に対応することができる。
5. 災害周期の変化に対応しながら多職種、多機関と連携・協働の上、安全なケア環境提供を継続する必要性を理解できる。
6. トリアージの方法を理解し、実施できる。
7. 災害時における情報の重要性を理解し、通信手段を習得する。
8. 収集した情報を分析し、災害の全体像を把握できる。
9. がれきの下の医療を理解し、適切な治療へつなぐことができる。
10. 避難所について理解し、必要な保健・医療へつなぐことができる。

・ 授業日程

(矢) マルチ 4-A 講義室ほか

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
6/12	金	4	救急・災害・総合医学講座 災害医学分野	眞瀬 智彦 教授	災害医学総論 ・ 危機管理とは、災害関連法、CSCATTT、災害時の情報について理解できる
6/16	火	3	救急・災害・総合医学講座 災害医学分野	眞瀬 智彦 教授	災害医学各論① ・ 過去の災害時の医療活動について説明できる ・ 超急性期から静穏期の看護について理解できる
6/23	火	3	救急・災害・総合医学講座 災害医学分野	眞瀬 智彦 教授	災害医学各論② ・ 避難所での活動を説明できる ・ 特殊災害について理解できる
6/26	金	3	救急・災害・総合医学講座 災害医学分野	眞瀬 智彦 教授 中島 成隆 助教 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教	(実習) トリアージ ・ トリアージの方法を理解し、実施できる
7/3	金	3	救急・災害・総合医学講座 災害医学分野	眞瀬 智彦 教授 中島 成隆 助教 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教	(実習) 情報通信・情報解析 ・ 災害時における情報の重要性を理解し、通信手段を習得できる ・ 収集した情報を分析し、災害の全体像を把握できる
7/3	金	4	救急・災害・総合医学講座 災害医学分野	眞瀬 智彦 教授 中島 成隆 助教 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教	(机上訓練) 受援 ・ 被災した医療機関における受援を理解し、適切に対応することができる

7/10	金	3	救急・災害・総合医学講座 災害医学分野	眞瀬 智彦 教授 中島 成隆 助教 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教	(机上訓練) 避難所 ・災害時における避難所について理解し、支援活動を行うことができる
7/10	金	4	救急・災害・総合医学講座 災害医学分野	眞瀬 智彦 教授 中島 成隆 助教 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教	(実習) がれきの下の医療 ・がれきの下の医療を理解し、適切な治療へつなぐことができる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
推	災害医学 第2版	山本保博 鶴飼卓 杉本勝彦	南山堂	2009
推	DMAT 標準テキスト 改訂第2版	日本集団災害医学会	へるす出版	2015

・成績評価方法

定期試験（80点）、講義・実習中の口頭試問・議論形式（20点）により、総合的に評価を行う。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

シラバスに記載されている内容及び各回に配布・掲示（Webclass 活用）されるレジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：統合分野 看護の統合と実践

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター (VPL-FWZ60)	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ (P-100)	1	講義用資料投影